

令和7年度 第1回 大阪市障がい者施策推進協議会 精神障がい者地域生活支援部会

1. 日 時 令和7年8月14日（木）午前10時00分～12時00分

2. 場 所 大阪市こころの健康センター大会議室

3. 出席委員 芦田委員、大野委員、加藤委員、栄委員、潮谷委員、島田委員
たにぐち委員、新田委員、松岡委員、安田委員（五十音順）

4. 会議内容

議題1 令和6年度精神科在院患者調査からの報告について

資料1について説明

（委員からの主な意見）

- ・ 在宅患者調査における入院者の減少理由は、高齢化と死亡・転院の増加が影響していると考える。入院者の実際は高齢で医療依存度が高く、退院先の選定が困難なケースが多い
- ・ 病院と地域を対極としてとらえるのではなく、病院を含めた地域の精神保健福祉施策の検討が必要でないか
- ・ 精神科からの退院者に対する支援体制の検討の場として、各区の調整の場を活用してもらいたい

議題2 令和6年度こころの健康センターの「にも包括」に係る取り組みについて

資料2-1から2-5について説明

（委員からの主な意見）

- ・ ピアサポーターの活用方法について検討してほしい
- ・ 退院者（施設入所となった方含む）のモニタリングをしてほしい
- ・ 地域生活移行推進事業開始後の総括・分析を行ってほしい
- ・ 病棟にいる看護師にまで、具体的な地域の情報が届くというのはなかなか難しい。地域の情報を病棟に引込んでくるかというのが大事だが、地域から病院へのアプローチがほしい

議題3 精神科病院における虐待防止に向けた取り組みについて

資料3について説明

（委員からの主な意見）

- ・ 虐待通報の具体的な内容について示していただきたい
- ・ より客観性のある対応をしていくために第三者の方を入れることを検討いただきたい

議題 4 高齢者施設等への入所を希望する方への支援モデル事業（案）について

資料 4、参考資料について説明

（委員からの主な意見）

- 精神科病院の年齢的な高齢化には、長期入院者だけではなく、認知症などでニューカマー的に入院になっている方も増えてきている。新しく認知症などで入院されている方々を、地域はどんなふうに戻っていけるのかを考えていただきたい
- もっと地域福祉という領域で考えないといけないことだとは思いますが、まずはこの新しい事業にしっかりと取り組んでいただきたい

議題 5 障がい者等基礎調査について

資料 5 - 1 から資料 5 - 3 について説明

（委員からの主な意見）

特になし